



湯田 哲 議員

## スノーフール支援、決定経緯と財源は

町長＝少雪という特殊な要因で決定、除雪予算の組み換え

**問**

先日の全員協議会で、少雪経済対策の説明がありました。

町の予算でスキー場の指定管理者へ過去3年間の収支の平均値まで補てんする支援策は、理解できません。方針決定までの経緯と財源処置は。

**町長**

この雪不足でオープン日の延期や、南郷スキー場に至っては1月の営業日が10日間でした。

各指定管理者から「スキー場経営が深刻な状況なので、町の支援をお願いしたい」との相談を受けました。

**問**

雪不足の影響は、指定管理者の努力ではどうにもできない特殊な要因で、各スキー場への支援を早急に調査検討した結果今回の支援となりました。

財源措置は、今年度の除雪委託料の支出が極端に少なくなり、その予算の組み換えにより対応します。

**町長**

本来従事するはずだった従業員に対して、何らかの手当の支払いをするよう各指定管理者へお願いします。

**問**

冬季雇用者には、今回のように給料が激減しても保証はありません。各スキー場に対し給料保証として予定額の何割程度が支払うよう指導する考えは。

**町長**

今年、御蔵入交流館の照明設備改修工事（LED化）に3億3360万円が予算計上されています。

更新内容の確認には多くの専門的能力が必要で、そのチェック作業は誰が行い、他の自治体なども参考にしていきます。

**町長**

施設担当課で行っています。

施設設備更新チェックは誰



南郷スキー場のようす（令和2年2月中旬撮影）

その他の質問  
・「ICT戦略室」（仮称）専門家を創設しICTコスト削減を推進せよ  
・役場機能保持のためのテレワーク環境づくり  
・児童生徒が自宅でテレ授業を受けられる環境づくりを